

# 近畿地方の装飾古墳



平成12年度 後期企画展  
【全国の装飾古墳シリーズ6】



熊本県立  
装飾古墳館

近畿地方の装飾古墳



平成12年度 後期企画展  
【全国の装飾古墳シリーズ6】



## 開催にあたって

熊本県立装飾古墳館で、平成7年に全国を8ブロックに分け、全国装飾古墳シリーズと銘打った企画展を始めてから、今年は6回目を迎えます。

昨年の「中国・四国地方の装飾古墳」展に続き、今年は「近畿地方の装飾古墳」展を開催いたします。

特に畿内（うちつくに、きない）は、古墳時代に奈良盆地を本拠地とした大和政權が、直接支配を行い、その勢力基盤となつたところで、その後の日本の政治・経済・文化の中心となつたところです。

この「やまとは、くにのまほろば」と歌われたやまとと、その周辺で展開された装飾古墳とは、どんな特色を持つものだったのでしょうか。

近畿地方には、装飾を持つ古墳は数こそ少ないのでですが、多数の線刻横穴が密集する高井田横穴群や、壁画古墳として知られる大和・飛鳥地域の高松塚古墳や、キトラ等の、全国的に著名な古墳が所在しています。それらは正に、シンプルな線刻と華麗な壁画が交差する世界といえましょう。

今回の企画展では、これらを写真パネルや、模型等関係資料を通してご紹介するものです。ご来館の上、ご高覧頂ければ、これにまさる喜びはございません。

今後、企画展に取り上げる地区が、熊本を遠く離れるにつれ、力の及ばない点も出てくると思いますが、担当学芸員一同初心を忘れず、8回にわたる全国装飾古墳シリーズ企画展を完了すべく、今後も努力を重ねて参りたいと思っております。

最後になりましたが、当企画展にご協力を頂きました関係機関に、心からお礼を申し上げます。

平成12年10月17日

熊本県立装飾古墳館  
館長 桑原 憲彰



## 近畿地方の装飾古墳

### 目次

C O N T E N T S

#### 開催にあたって

近畿地方の装飾古墳分布図	1
--------------	---

近畿地方の装飾古墳一覧表	2
--------------	---

#### I. 近畿地方の装飾古墳分布と歴史環境

1. 大和飛鳥地域	5
2. 河内中部地域	6

#### II. 近畿地方の装飾古墳

1. 飛鳥の壁画古墳	9
(1) 高松塚古墳	9
(2) キトラ古墳	14

2. 河内の線刻装飾古墳	15
(1) 安福寺境内石棺蓋	15
(2) 北峯1号墳	16
(3) 高井田横穴群	17
(4) 安福寺北塚10号横穴	34

3. 摂津・播磨・但馬(兵庫県)の装飾古墳	35
(1) 北神第3地点古墳	35
(2) 高塚山古墳群	36
(3) 緑ヶ丘2号墳	38
(4) 長者ヶ平2号墳	39
(5) 三ノ谷古墳群	40
(6) 神ナシ古墳	42

#### III. 壁画古墳と線刻横穴墓

1. 高松塚古墳とキトラ古墳	45
2. 高井田横穴群	47

---

参考・引用文献一覧	49
-----------	----

協力者一覧	50
-------	----

---

## 凡例

1. 本書は、熊本県立装飾古墳館が平成12年10月17日から12月3日に開催する平成12年度後期企画展「近畿地方の装飾古墳」－全国の装飾古墳シリーズ6－に際して発行する展示図録である。
2. 本書と展示の構成は必ずしも一致するものではない。
3. 掲載写真は、当館が実施している全国装飾古墳調査研究事業の一環として、奈良国立文化財研究所の牛鶴茂氏と西大寺フォトの杉本和樹氏に撮影と撮影指導をいただき、当該市町教育委員会の協力を得て実施した。
4. 写真撮影が不可能な古墳については、当該関係機関から写真の提供を受けた。
5. 本文中において、石室や横穴墓内の左・右は、奥壁に向かって左・右と表記する。また、墳丘などの寸法は概寸である。
6. 本書に掲載した実測図などは、当該古墳の調査報告書や各種出版物に掲載の図面を再トレースして掲載した。
7. 本文中において、一般に「横穴墓」・「横穴」・「横穴古墳」と呼称される墳墓については、「横穴墓」の表記に統一した。ただし、「高井田横穴群」や「安福寺横穴群」については、柏原市教育委員会による調査報告での表記に従った。
8. 本書の編集は、当館学芸課野田拓治の指導により、北原美和子・吉里美枝子の協力を得て、林田登之が行った。
9. 本書の表丁・印刷仕様は下記のとおりである。

### 本書の仕様

判型: A4 判
頁数: 60頁
組版: 等貞等植
製版: スクリーン線数200線
印刷: オフセット印刷4色刷り
用紙: 表紙 / アートボスト紙 200kg
本文 / マットコート紙 110kg
製本: 左無縫綴じ

## 近畿地方の装飾古墳分布図



近畿地方の装飾古墳一覧表

No.	古 墓 名	古墳群名	所 在 地	墳 形	埋葬施設	装飾部位	装飾方法	表 飾 図 文
1	高松古墳		奈良県 高市郡明日香村平田	円墳	樋口式石棺	玄室	彩色	四神、男女群像、星宿、日月像
2	キトラ古墳		高市郡明日香村阿部山	円墳	玄室	口縁竹格	線刻	四神、星宿、日月像
3	安福寺境内古墳		大阪府 柏原市玉手町	一	横穴式石室	玄室	線刻	直彌文
4	北塚1号墳	北塚古墳群	柏原市田辺2丁目	円墳	横穴式石室	玄室	線刻	人物、木の葉文、馬、格子文など
5	高井田1-5号横穴	高井田横穴群	柏原市高井田	一	横穴式石室	玄室	線刻	人物、馬、格子文
6	高井田1-12号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	魚、円文
7	高井田1-21号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	人物、木の葉文
8	高井田1-22号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	人物、鳥
9	高井田2-3号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	騎馬人物、馬、格子文、彌悉文
10	高井田2-5号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	人物、家屋など
11	高井田2-10号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	人物、馬、轎
12	高井田2-11号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	人物、馬、太陽、格子文など
13	高井田2-12号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	人物、扇
14	高井田2-14号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	人物、馬、船、渦巻文、X形文
15	高井田2-23号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	人物、楕木、馬、船
16	高井田2-27号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	人物、馬、船、X形文
17	高井田2-28号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	人物、馬、X形文
18	高井田2-33a号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	人物、弓矢を持つ人物、木の葉文など
19	高井田2-33b号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	人物、弓矢など
20	高井田3-2号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	人物、唐草
21	高井田3-5号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	船に乗り人物、船
22	高井田3-7号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	人物、連草文
23	高井田3-8号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	人物、同心円文
24	高井田3-10号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	戈を持つ人物
25	高井田3-13号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	鳥、紋など
26	高井田3-18号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	龍など
27	高井田4-4号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	鳥、家屋など
28	高井田4-7号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	人物
29	高井田4-28号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	円文
30	高井田4-34号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	家屋、馬など
31	高井田4-40号横穴	"	"	"	横穴式石室	玄室	線刻	魚
32	安福寺北群10号横穴	安福寺横穴群	柏原市玉手町	一	横穴式石室	玄室	線刻	格子文
33	大寺第3支群2号墳	平尾山古墳群	柏原市玉手町	円墳	横穴式石室	玄室	線刻	人物
34	北神第3号古墳	兵庫県 神戸市北区道場町	前方後円墳	"	横穴式石室	玄室	線刻	円文
35	高塚山2号墳	高塚山古墳群	神戸市垂水区多聞町	方墳	横穴式石室	玄室	線刻	家屋、馬など
36	高塚山9号墳	"	"	円墳	横穴式石室	玄室	線刻	人物
37	緑ヶ丘2号墳	緑ヶ丘古墳群	相生市緑ヶ丘1丁目	円墳	横穴式石室	玄室	線刻	格子文
38	長瀬ケ平2号墳	長瀬ケ平古墳群	美方郡高岡町寺河内	方墳	横穴式石室	玄室	線刻	強草文
39	三ノ谷1号墳	三ノ谷古墳群	美方郡高岡町高井	円墳	横穴式石室	玄室	線刻	鳥
40	三ノ谷2号墳	"	"	?"	横穴式石室	玄室	線刻	騎馬人物、木の葉文
41	神ナツ古墳	"	"	円墳	横穴式石室	玄室	線刻	鳥

# I.

## 近畿地方の装飾古墳分布と歴史環境



高井田横穴群(右端)と古市古墳群

# I. 近畿地方の装飾古墳と歴史環境

こんにち近畿地方といえば、本州中央部の滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山の2府4県をさすが、古代の律令制行政区画では「畿内」(うちつくに、きない)と呼ばれる地域が現在の近畿地方にはほぼ相当する。すなわち、

**山城**(京都南部)、**大和**(奈良)、**摂津**(大阪北部と兵庫東南部)、**河内**(大阪東半部)、**和泉**(大阪南部)の5国である。この畿内の範囲は、古墳時代に奈良盆地を本拠地としたヤマト政権が直接的支配を及ぼし、その勢力基盤となつた範囲に起源が求められ、その後長く日本列島の政治・経済・文化の中心かつ先進地となつた。

近畿地方において古代の畿内に入らないのは、滋賀・京都中北部・兵庫西南部と中北部・和歌山地域である。これらの地域は、律令制では、

**近江**(東山道)、**丹波**(山陰道)、**丹後**(<sup>丹後</sup>)、**但馬**(<sup>但馬</sup>)、**播磨**(山陽道)、**紀伊**(南海道)に区分される。古墳時代、特に近江・丹後・紀伊地域には有力な政治勢力の存在が認められ、ヤマト政権を中心とする政治連合体の一翼を担う要地だったと考えられる。

ところで、古墳の石室内部や石棺、あるいは横穴墓の内部などに彩色や線刻を施した、いわゆる装飾古墳は、いまでもなく九州北中部地域を中心に築造されるが、北は宮城県まで九州・四国・本州すべてにその存在が確認されている。古墳時代当時この国の政治・経済・文化の中心であった畿内近国においては、多数の線刻横穴墓が密集する河内中部地域の高井田横穴群などわずかに数例が点在するのみである。その後、7世紀末～8世紀初めの古墳時代最終末になって、大和飛鳥地域に高松塚古墳・キトラ古墳という、從来の装飾古墳とは系譜を異なる壁画古墳が出現する。

以下、高松塚・キトラ古墳が所在する大和飛鳥地域と、高井田横穴群が所在する河内中部地域の歴史環境について概観する。

## 1. 大和飛鳥地域

高松塚古墳・キトラ古墳は奈良盆地の南端部、奈良県高市郡明日香村に所在する。ちなみに、古代において「飛鳥」と呼ばれた範囲は、現在の明日香村域のうち飛鳥寺や飛鳥淨御原宮跡などが所在する一帯に限られていたと考えられる。高松塚・キトラ古墳が所在する地域は「檜前」と呼ばれた地域で、厳密には古代飛鳥の範囲には含まれていない。

飛鳥とその周辺地域には、「古事記」・「日本書紀」によれば推古朝以来、7世紀代のヤマト政権の宮が連續して営まれ、天武・持統朝には、初めて条坊制による京城を備えた藤原京(新益京)が造営され、また、6世紀末の蘇我氏による飛鳥寺の建立を契機に、政権中枢を構成する有力豪族の氏寺や官寺なども多数建立された。このほか、近年の発掘調査によって、飛鳥池遺跡では7～8世紀の大規模な金属・ガラス工房と最古の貨幣とされる「富本銭」が出土し、酒船石遺跡では、斎明朝時期と考えられる石垣状遺構が出土した丘陵の下の谷間から、流水施設と考えられる亀形石造物や石敷遺構が出土するなど、7世紀代の庭園・祭祀に関わる遺構や工房跡が相次いで発見されている。このように、古代の飛鳥地域は、律令体制への胎動期における中央政治の舞台となり、大王の宮殿や庭園・古代寺院などが集中する都市的空間が広がっていたかと考えられる。

高松塚古墳・キトラ古墳は、藤原京跡の真南の小丘陵が入り組んだ地域に立地する。この一帯には、天武・持統陵古墳や文武陵と考えられる中尾山古墳をはじめとして、7世紀後半から8世紀前半の天皇・皇族クラスの人物を葬ったと考えられる古墳が多く所在する。天武・持統陵古墳が、藤原京の朱雀大路を南に延長した線上に位置することから、同古墳の築造場所は藤原京の立地をもとに計画的に決定されたという説もあるが、高松塚・キトラ古墳も含め、藤原京南方の丘陵地が皇族の葬送地として意識されていた可能性は高いと考えられる。



玉手山丘陵から高井田横穴群(中央右の林)を望む

## 2. 河内中部地域

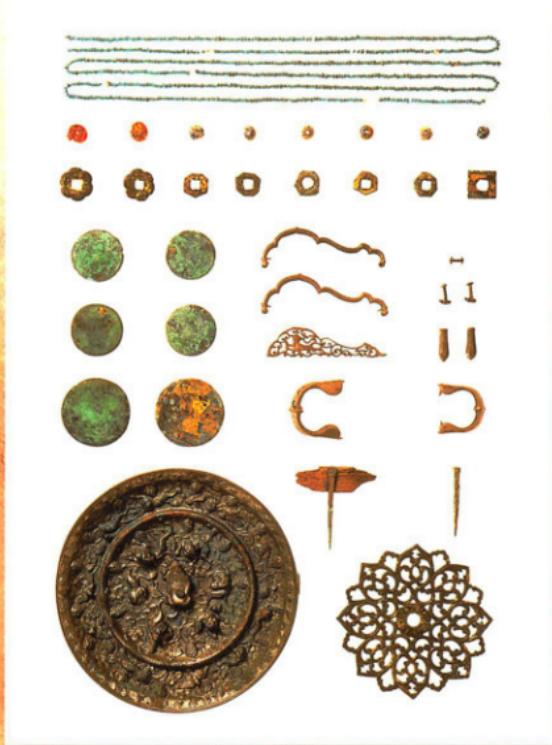
大阪府と奈良県の境を南北に走る生駒山地の西南麓は、かつて河内の国府や国分寺・国分尼寺がおかれた場所で、現在は大阪府柏原市となっている。同地は、奈良盆地から西流してきた大和川が、生駒山地と金剛山地に挟まれた谷間を貫流して大阪平野に入る地点で、奈良盆地から大和川流域を本拠地としたヤマト政権にとって特に重要な地域であったと考えられる。高井田横穴群は、大和川右岸の生駒山塊南端の丘陵に立地する。

この地域には、すでに古墳時代前期から、松岳山古墳や玉手山古墳群などの全長100mを超す前方後円墳が出現している。安福寺境内に安置されている直弧文が施された割竹形石棺は、このうち玉手山3号墳から出土した可能性がある。中期中頃に古墳の築造は一時途絶える様相を見せるが、中期末からは円墳を主体として再び造墓活動が活発化している。ちなみに、この地域のすぐ西方の大和川左岸の平地では、応神陵古墳など5世紀代の大王級の墓と考えられる古市古墳群が形成されている。

横穴式石室が導入される後期になると、群集墳や横穴墓群が爆発的に築造される。大和川右岸の丘陵には総数1,500~2,000基ともいわれる平尾山古墳群(横穴式石室主体)や高井田横穴群が、その対岸の独立丘陵には安福寺横穴群・玉手山東横穴群が形成される。古墳時代後期のほぼ同時期に横穴式石室墳と横穴墓が並行して築造されている点が注目され、被葬者集團の出自や系譜の違いがその背景として考えられている。

なお、大和川右岸の生駒山地西南麓には、6世紀を中心とした大集落跡である大県遺跡・大県南遺跡が所在するが、ここからはフイゴ羽口や鉄滓なども大量に出土しており、当時としては全国最大規模の鍛冶専業集団の存在が考えられている。

# III. 近畿地方の装飾古墳



高松塚古墳出土遺物  
(提供:奈良国立文化財研究所飛鳥資料部)

## II. 近畿地方の装飾古墳

### 1. 飛鳥の壁画古墳

#### (1) 高松塚古墳

奈良県高市郡明日香村平田

墳丘 : 円墳(直径20~25m)

埋葬施設: 横口式石槨、漆塗木棺

装飾方法: 彩色

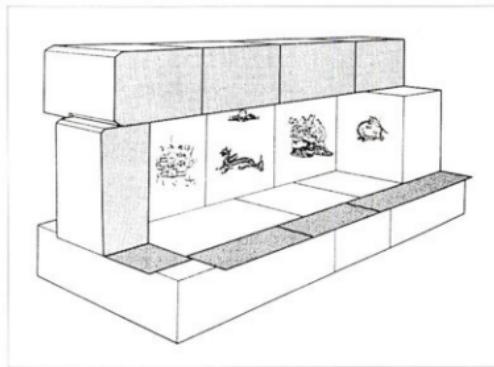
装飾位置: 石槨内壁

装飾文様: 玄武、青龍、白虎、男女群像、日月像、星宿圖

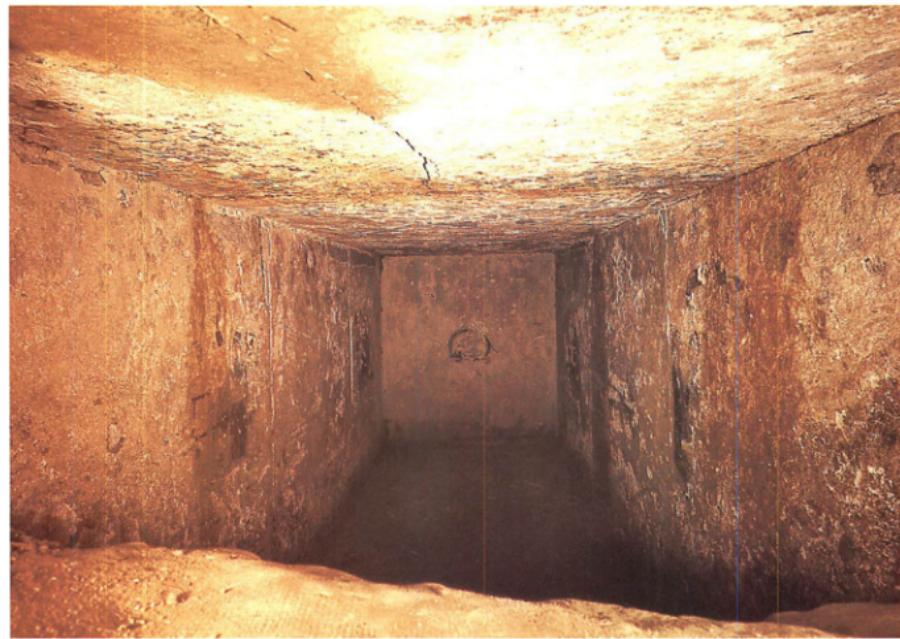
出土遺物: 海獸葡萄鏡、琥珀丸玉、ガラス栗玉・丸玉、

金銅製棺装飾金具、銀装太刀金具など

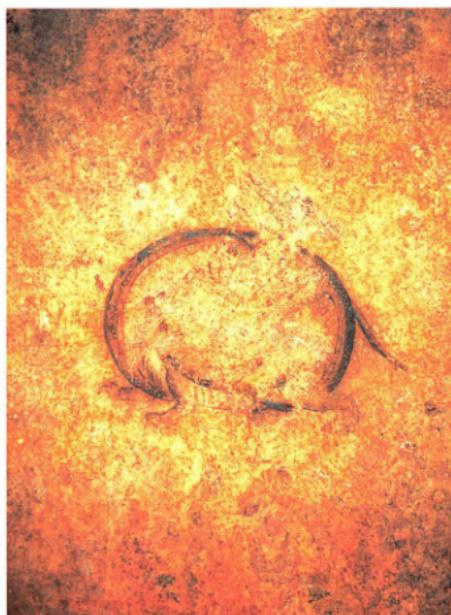
築造時期: 8世紀初頭



高松塚古墳石槨模式図



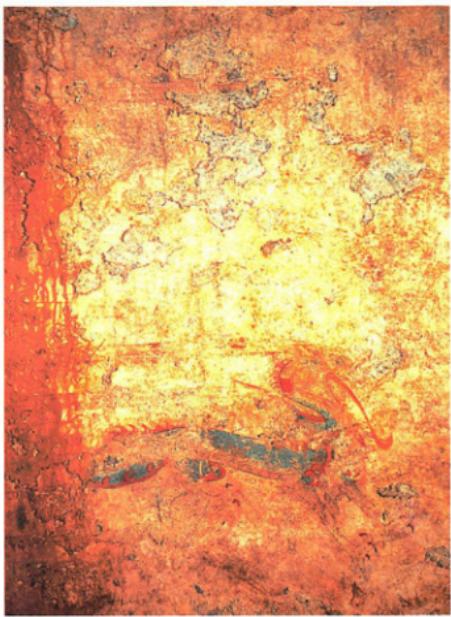
高松塚古墳 石槨全景  
(提供: 明日香村教育委員会)



高松塚古墳  
石槨北壁 玄武  
(提供:明日香村教育委員会)



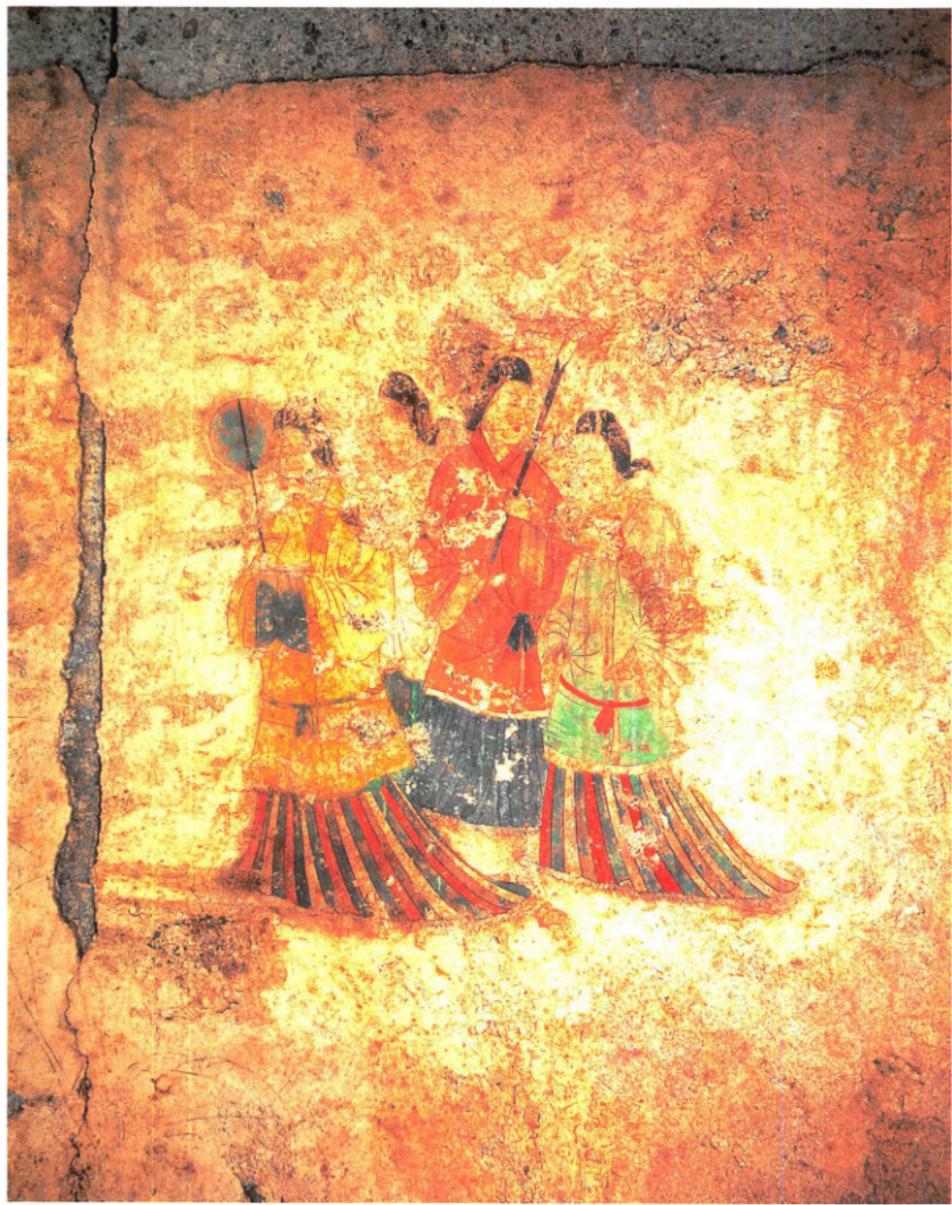
高松塚古墳 石槨西壁 月像と白虎  
(提供:明日香村教育委員会)



高松塚古墳 石槨東壁 日像と青龍  
(提供:明日香村教育委員会)

## 1. 飛鳥の壁画古墳

### (1) 高松塚古墳



高松塚古墳 石櫻西壁 女子群像  
(提供:明日香村教育委員会)



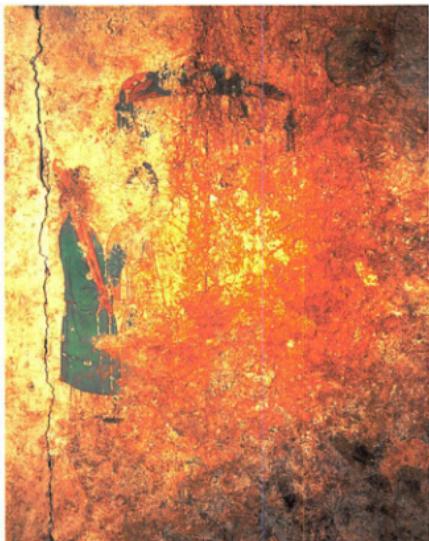
高松塚古墳 石室東壁 女子群像  
(提供:明日香村教育委員会)

## 1. 飛鳥の壁画古墳

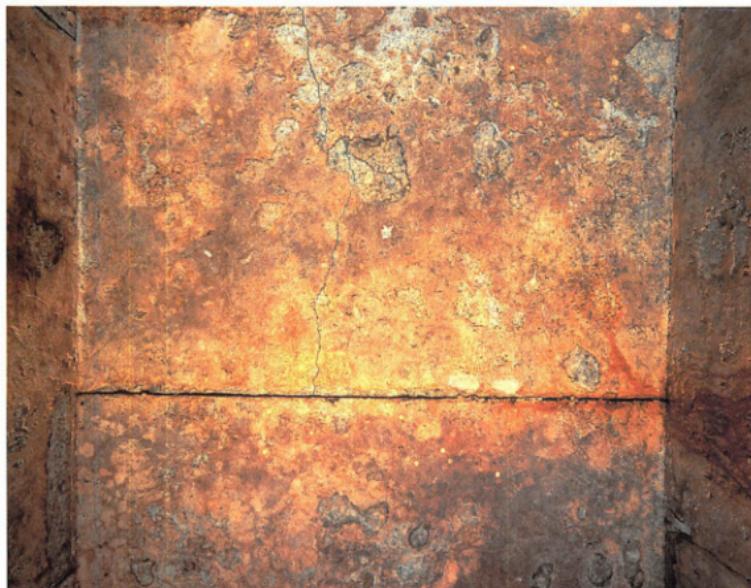
### (1) 高松塚古墳



高松塚古墳 石槨西壁 男子群像  
(提供:明日香村教育委員会)



高松塚古墳 石槨東壁 男子群像  
(提供:明日香村教育委員会)



高松塚古墳  
石槨天井 星宿図  
(左が西壁)  
(提供:明日香村教育委員会)

## (2)キトラ古墳

奈良県高市郡明日香村阿部山

墳丘：円墳(直径13.8m)

埋葬施設：横口式石槨

装飾方法：彩色

装飾位置：石槨内壁

装飾文様：玄武、青龍、白虎、日月像、天文星宿図

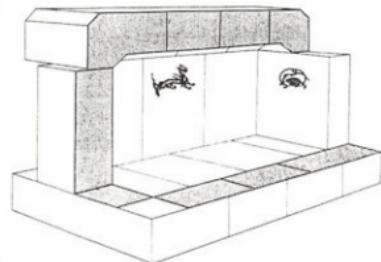
出土遺物：なし

築造時期：7世紀後半から8世紀初頭

(高松塚古墳に先行)



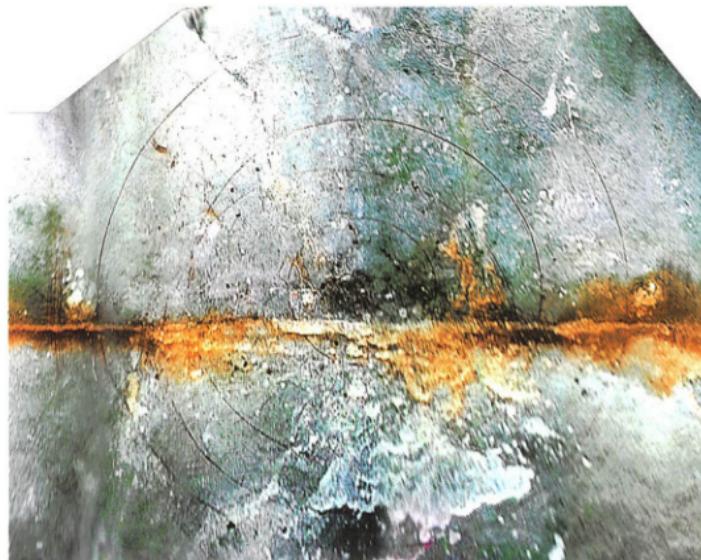
キトラ古墳 石槨北壁 玄武 (画像処理・提供:東海大学情報技術センター ©Asuka.TRIC.NHK, 1998)



キトラ古墳石槨模式図



キトラ古墳 石槨西壁 白虎 (画像処理・提供:東海大学情報技術センター ©Asuka.TRIC.NHK, 1998)

キトラ古墳 石槨天井 天文図  
(画像処理・提供:東海大学情報技術センター ©Asuka.TRIC.NHK, 1998)

## 2. 河内の線刻装飾古墳

### (1) 安福寺境内石棺蓋

大阪府柏原市玉手町

石棺形態：削抜式割竹形石棺

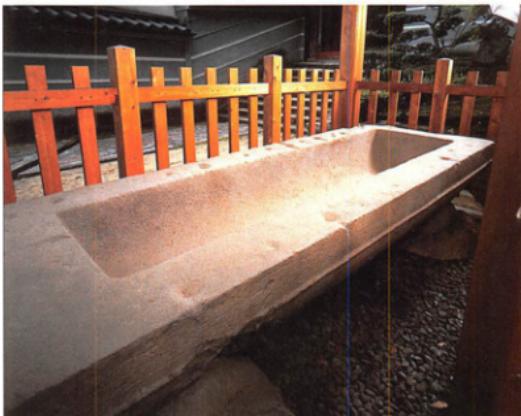
装飾方法：線刻

装飾位置：口縁部外側面

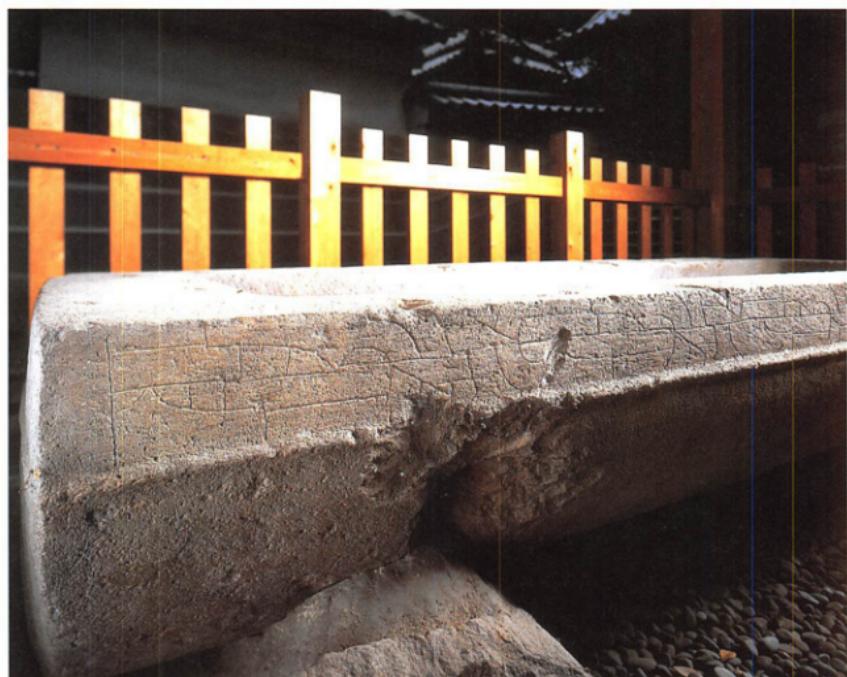
装飾文様：直弧文

時 期：4世紀後半

備 考：王手山3号墳(前方後円墳、全長106m)から出土か？



安福寺境内石棺蓋



安福寺境内石棺蓋 直弧文

## (2) 北峯1号墳

大阪府柏原市田辺2丁目

墳丘：円墳(直径約8m)

埋葬施設：横穴式石室(無袖)

装飾方法：線刻

装飾位置：玄室右側壁

装飾文様：船

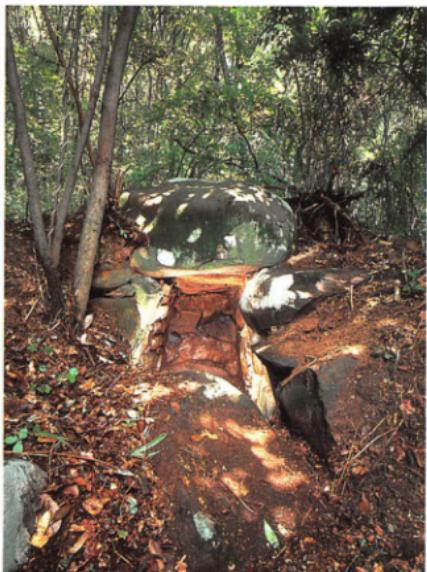
出土遺物：不明

築造時期：6世紀後半から7世紀前半

備考：後世の落書きの可能性もあり



石室実測図



北峯1号墳

北峯1号墳  
玄室右側壁 船

## 2. 河内の線刻装飾古墳

### (3) 高井田横穴群

大阪府柏原市高井田

#### ① 高井田2-3号横穴

装飾方法: 線刻

装飾位置: 球道両側壁、玄室全面

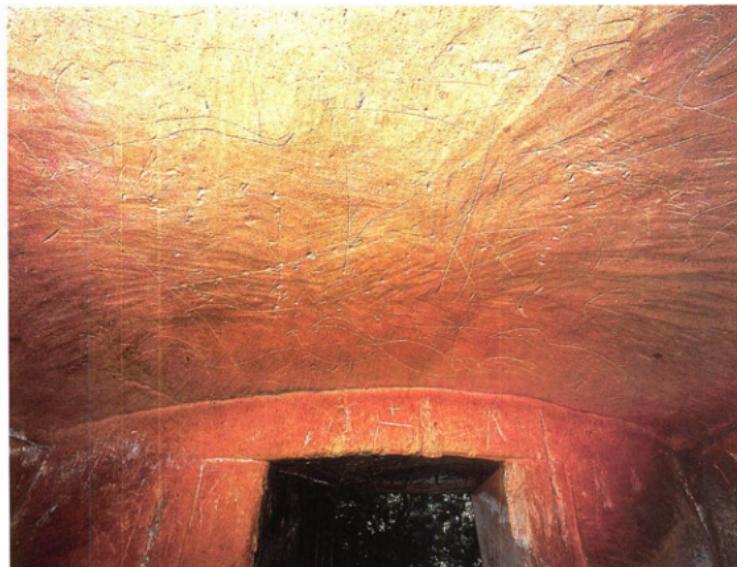
装飾文様: 騎馬人物、馬、鳥など

出土遺物: 須恵器

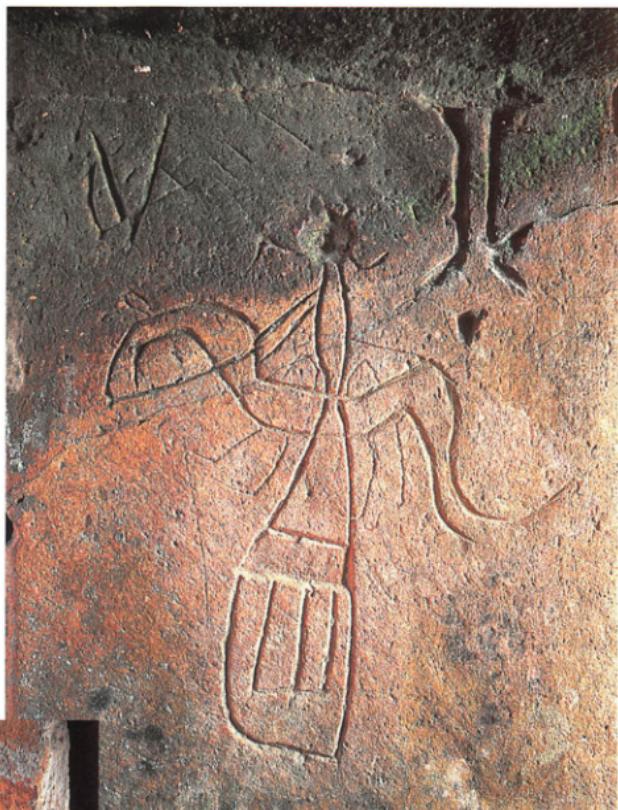
築造時期: 6世紀末



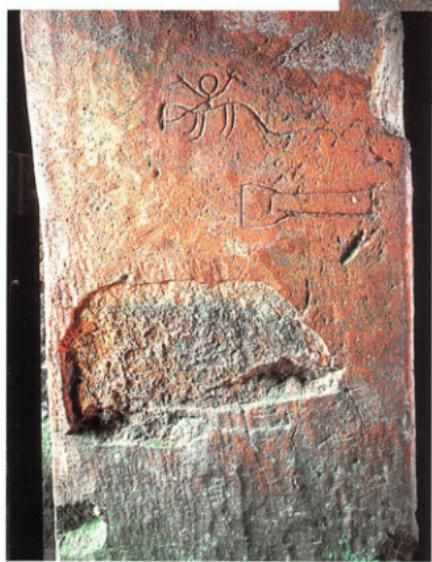
高井田2-3-4-5号横穴  
(上3号、右4号、左5号)



高井田2-3号横穴  
玄室天井 鳥



高井田2-3号横穴 義道右壁 騎馬人物



高井田2-3号横穴 義道左壁 騎馬人物

## 2. 河内の線刻装飾古墳

### (3) 高井田横穴群

#### ② 高井田2-5号横穴

装飾方法: 線刻

装飾位置: 玄室奥壁・右側壁

装飾文様: 人物、家屋など

出土遺物: 須恵器、土師器など

築造時期: 6世紀後葉



高井田2-5号横穴

高井田2-5号横穴 玄室奥壁 家屋



## ③高井田2-10号横穴

装飾方法：線刻

装飾位置：羨道両側壁、玄室奥壁・左側壁

装飾文様：人物、馬、幡など

出土遺物：須恵器、土師器など

築造時期：6世紀中葉



高井田2-10号横穴

高井田2-10号横穴 玄室左側壁 人物、幡



## 2. 河内の線刻装飾古墳

### (3) 高井田横穴群

#### ④ 高井田2-11号横穴

装飾方法: 線刻

装飾位置: 玄室天井

装飾文様: X形文

出土遺物: 須恵器、土師器、馬具、鉄鎌など

築造時期: 6世紀中葉(2-10号横穴に先行)



高井田2-11号横穴  
(上は2-10号)

高井田2-11号横穴 玄室天井 X形文



## ⑤高井田2-12号横穴

装飾方法: 線刻

装飾位置: 羨道両側壁、玄室全面

装飾文様: 人物、鳥、船など

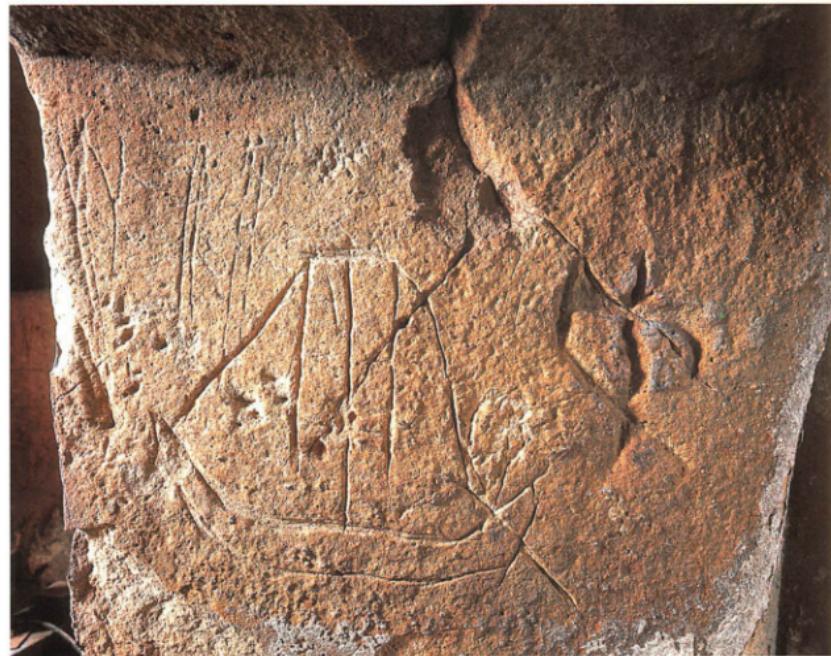
出土遺物: 須恵器、土師器、鎌、刀子など

築造時期: 6世紀中葉



高井田2-12号横穴

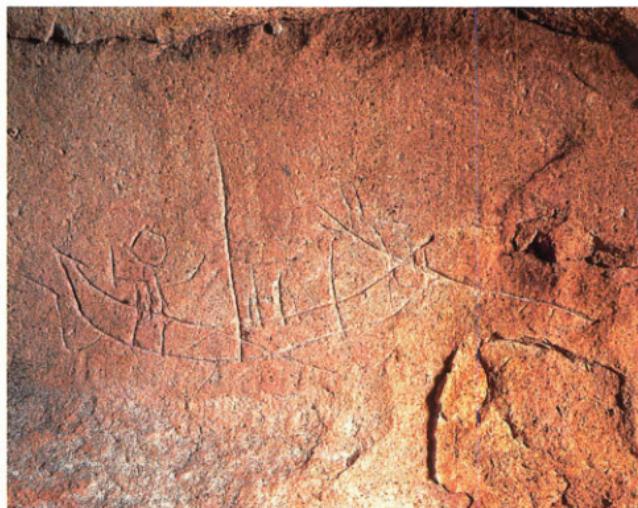
高井田2-12号横穴 羨道右壁 船



## 2. 河内の線刻装飾古墳

### (3) 高井田横穴群

⑤高井田2-12号横穴



## ⑥高井田2-27号横穴

装飾方法:線刻

装飾位置:玄室全面

装飾文様:人物、鳥、船、家屋など

出土遺物:不明

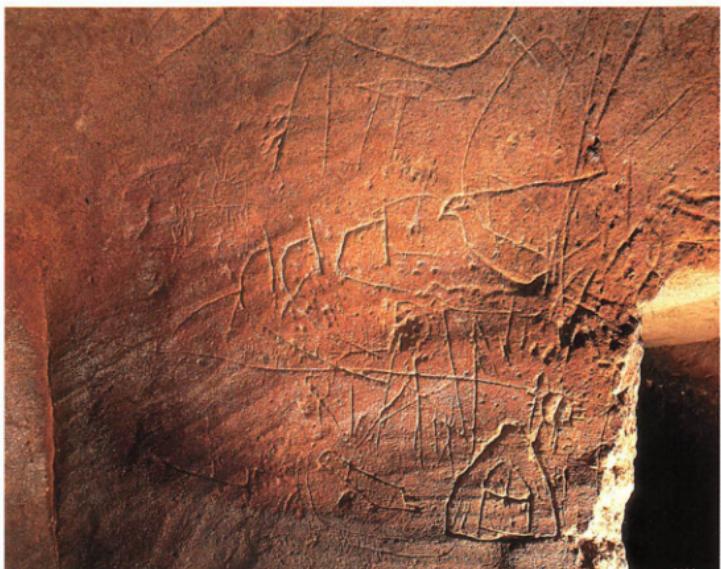
築造時期:古墳時代後期



高井田2-27(右)-28号横穴



高井田2-27号横穴

高井田2-27号横穴  
玄室右前壁 家屋など

## 2. 河内の線刻装飾古墳

### (3) 高井田横穴群

#### ⑦ 高井田2-28号横穴

装飾方法: 線刻

装飾位置: 玄室奥壁・左側壁

装飾文様: 騎馬人物、X形文など

出土遺物: 不明

築造時期: 古墳時代後期



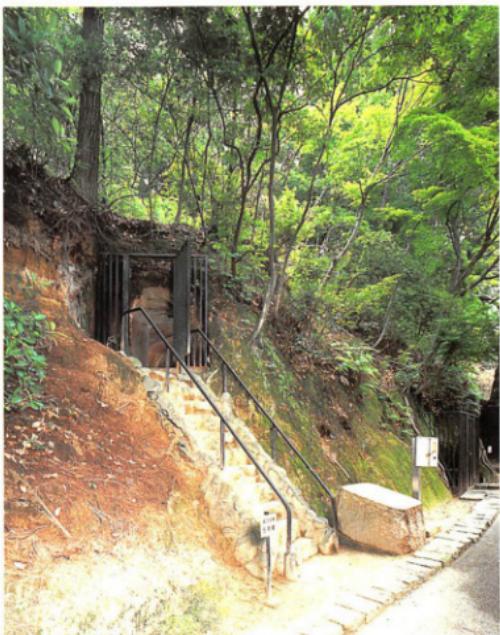
高井田2-28号横穴



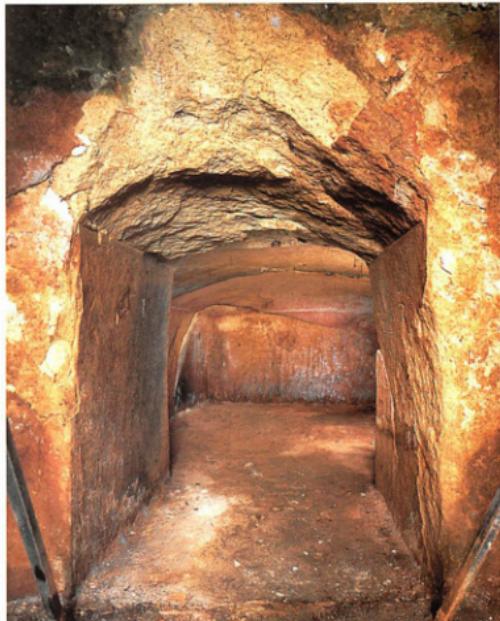
高井田2-28号横穴  
玄室左側壁 X形文

## ⑧高井田3-5号横穴

装飾方法: 線刻  
装飾位置: 羨道両側壁  
装飾文様: 人物、船  
出土遺物: 不明  
築造時期: 古墳時代後期



高井田3-5号横穴



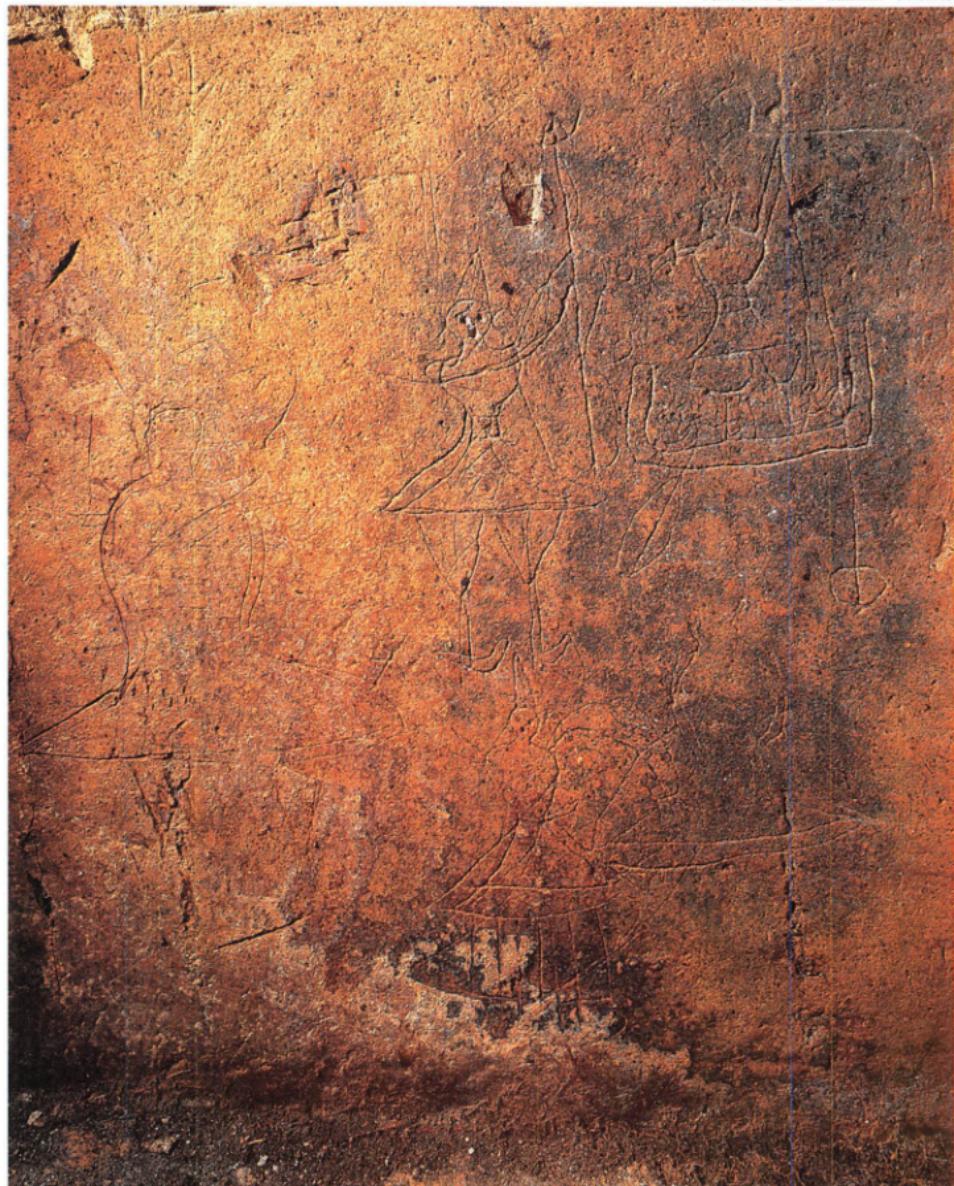
高井田3-5号横穴

## 2. 河内の線刻装飾古墳

### (3) 高井田横穴群

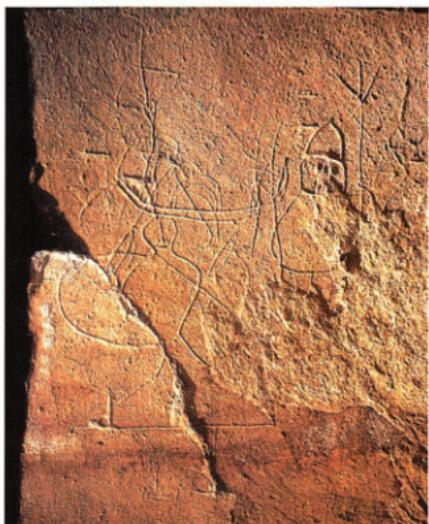
#### ⑧ 高井田3-5号横穴

高井田3-5号横穴 左壁 人物群像





高井田3-5号横穴  
葬道左壁 矛を持つ人物、舟に乗る人物



高井田3-5号横穴  
葬道右壁 人物

## 2. 河内の線刻装飾古墳

### (3) 高井田横穴群

#### ⑨高井田3-7号横穴

装飾方法: 線刻

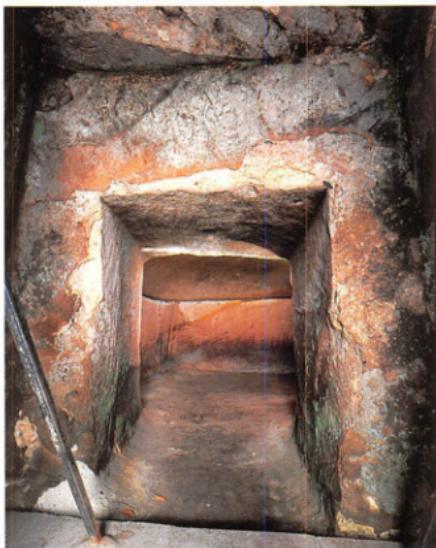
装飾位置: 羨門、羨道右側壁

装飾文様: 蓮華文、人物

出土遺物: 不明

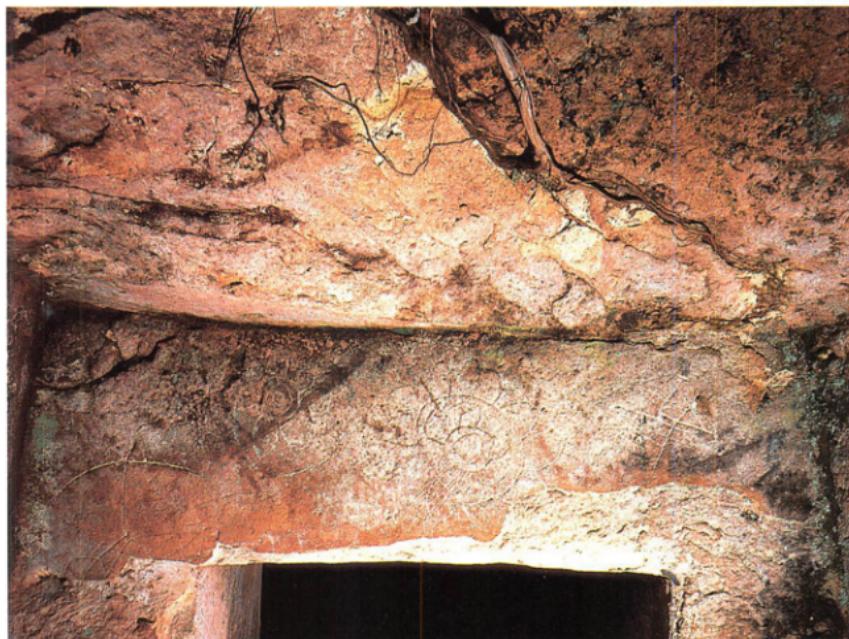
築造時期: 古墳時代後期

高井田3-6(左)・7号横穴



高井田3-7号横穴

高井田3-7号横穴 羨門上部 蓮華文



## ⑩高井田3-10号横穴

装飾方法: 線刻

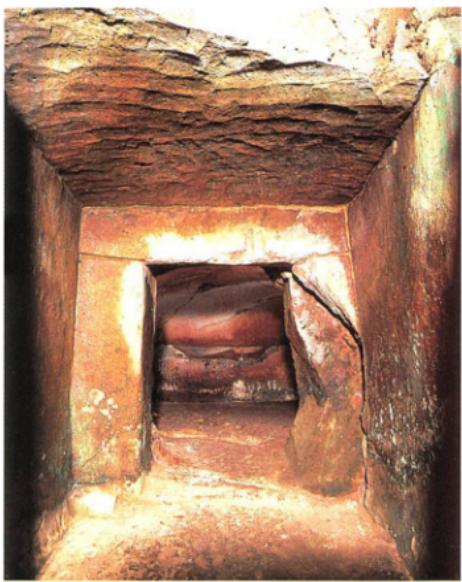
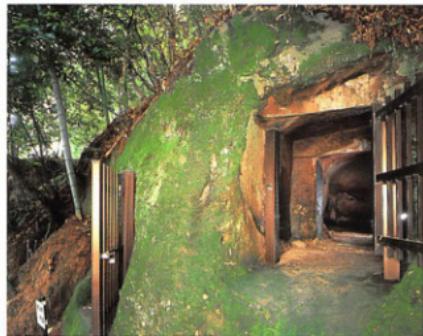
装飾位置: 玄室両側壁

装飾文様: 人物、木の葉文、弓矢、槍など

出土遺物: 不明

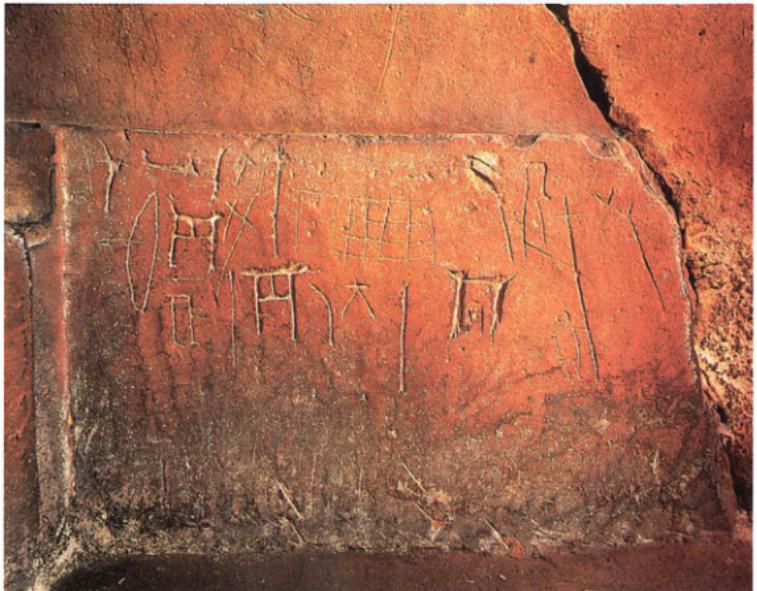
築造時期: 6世紀中葉

高井田3-10(右)-11号横穴



高井田3-10号横穴

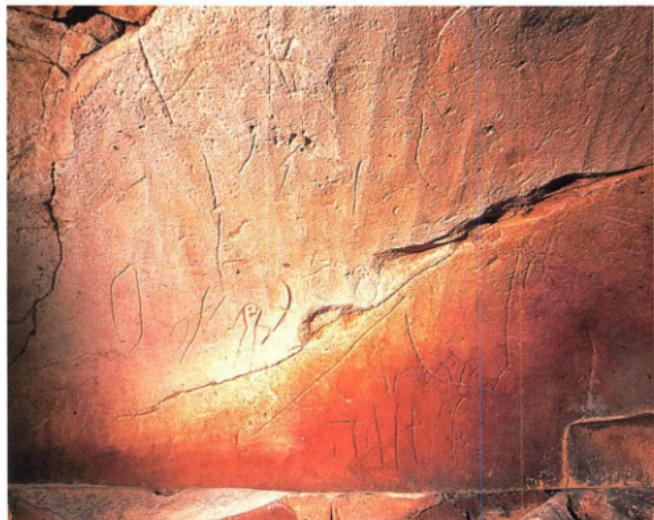
高井田3-10号横穴 玄室右侧壁 弓矢など



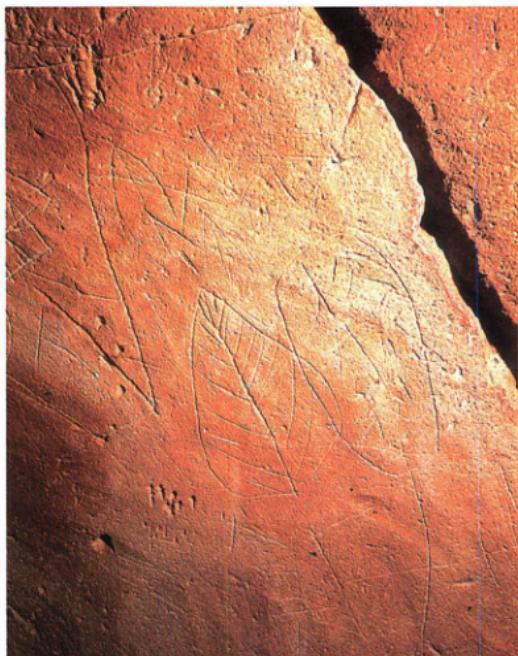
## 2. 河内の線刻装飾古墳

### (3) 高井田横穴群

⑩高井田3-10号横穴



高井田3-10号横穴  
玄室奥壁 戈を持つ人物など



高井田3-10号横穴  
玄室天井 木の葉文

## ⑪高井田3-13号横穴

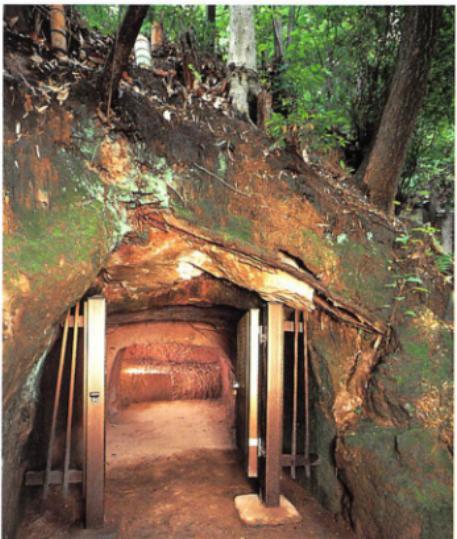
装飾方法: 線刻

装飾位置: 羨道両側壁、玄門両袖部、玄室両側壁

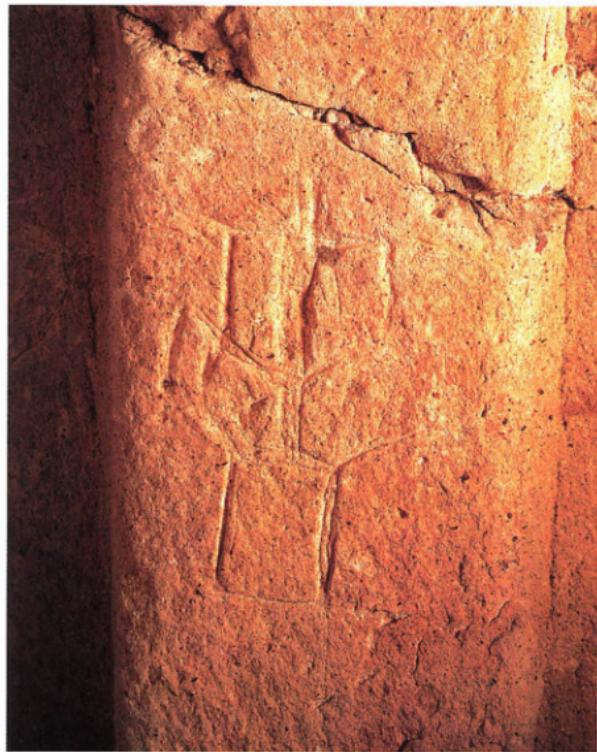
装飾文様: 鳥、鞆など

出土遺物: 須恵器、土師器

築造時期: 7世紀初頭頃



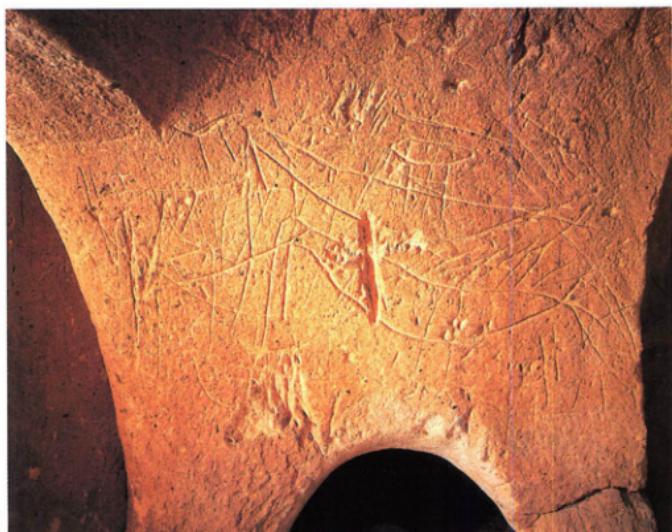
高井田3-13号横穴



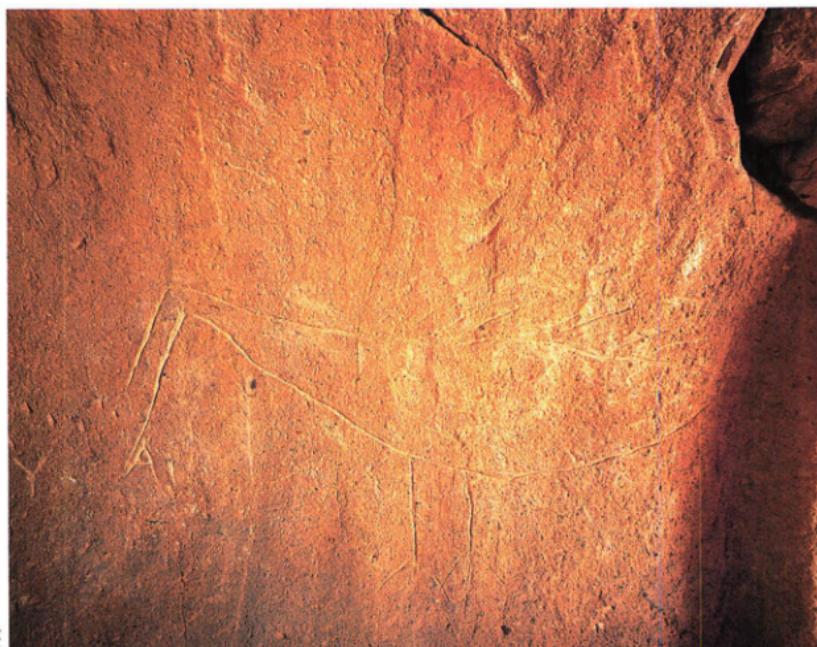
高井田3-13号横穴  
玄門右袖 鞆

## 2. 河内の線刻装飾古墳

⑪高井田3-13号横穴



高井田3-13号横穴  
玄室左側壁 鳥



高井田3-13号横穴  
玄室右側壁 鳥

## (4) 安福寺北群10号横穴

大阪府柏原市玉手町

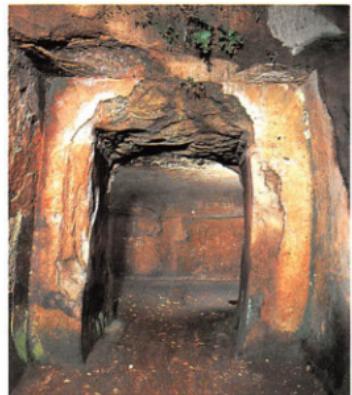
装飾方法: 線刻

装飾位置: 草道右側壁

装飾文様: 騎馬人物、人物

出土遺物: 不明

築造時期: 6世紀中葉から7世紀初頭



安福寺北群10号横穴



安福寺横穴群北群(鉄格子内が10号横穴)



線刻実測図

安福寺北群10号横穴  
草道右壁 騎馬人物、人物

### 3. 摂津・播磨・但馬(兵庫県)の装飾古墳

#### (1) 北神第3地点古墳

兵庫県神戸市北区道場町

墳丘：前方後円墳(全長36m)

埋葬施設：横穴式石室(右片袖)

装飾方法：線刻

装飾位置：玄室奥壁・左側壁

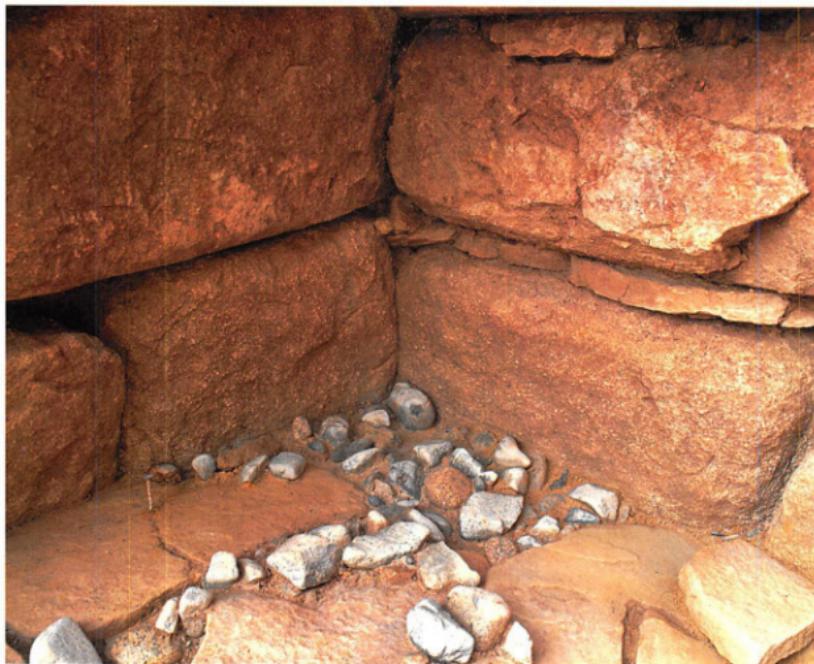
装飾文様：円文

出土遺物：須恵器、馬具、鉄鎌、ガラス小玉など

築造時期：6世紀中頃



北神第3地点古墳(提供:神戸市教育委員会)



北神第3地点古墳 玄室左奥隅 2つの円文 (提供:神戸市教育委員会)

## (2) 高塚山古墳群

兵庫県神戸市垂水区多聞町

## ① 高塚山2号墳

墳丘 方墳(11×12m)

埋葬施設: 横穴式石室(左片袖)

装飾方法: 線刻

装飾位置: 玄室右側壁

装飾文様: 馬、家?、「甲」形文

出土遺物: 須恵器、馬具、鉄鎌、金環

築造時期: 6世紀後半



高塚山2号墳 石室 (提供: 神戸市教育委員会)



高塚山2号墳 玄室右側壁 馬、家屋?、「甲」形文 (提供: 神戸市教育委員会)

### 3. 摂津・播磨・但馬(兵庫県)の装飾古墳

#### (2) 高塚山古墳群

##### ②高塚山9号墳

墳丘：円墳(直径13~15m)

埋葬施設：横穴式石室(左片袖)

装飾方法：線刻

装飾位置：玄室右側壁

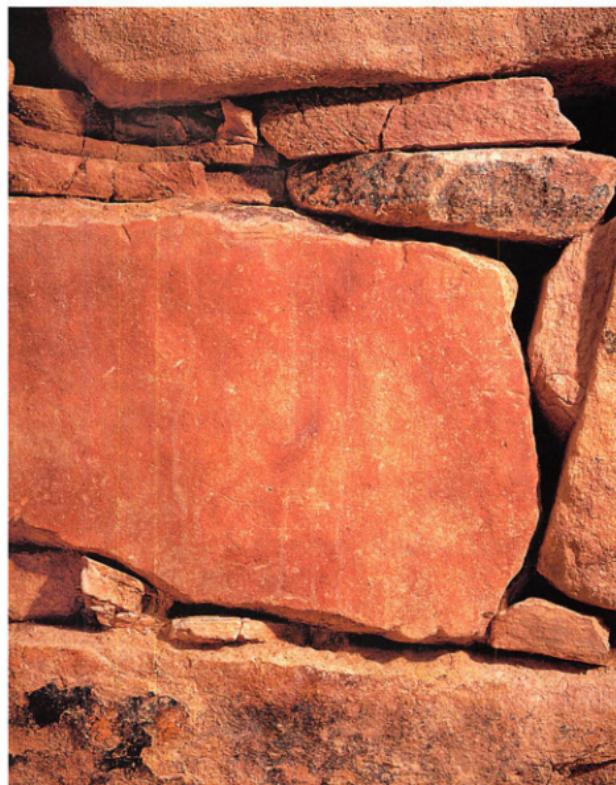
装飾文様：魚

出土遺物：耳環

築造時期：古墳時代後期



高塚山9号墳（提供：神戸市教育委員会）



高塚山9号墳 玄室右側壁 魚  
(提供：神戸市教育委員会)

## (3) 緑ヶ丘2号墳

兵庫県相生市緑ヶ丘1丁目

墳丘：円墳（直径約27m）

埋葬施設：横穴式石室（右片袖）

装飾方法：線刻

装飾位置：玄室奥壁・両側壁

装飾文様：斜格子文？

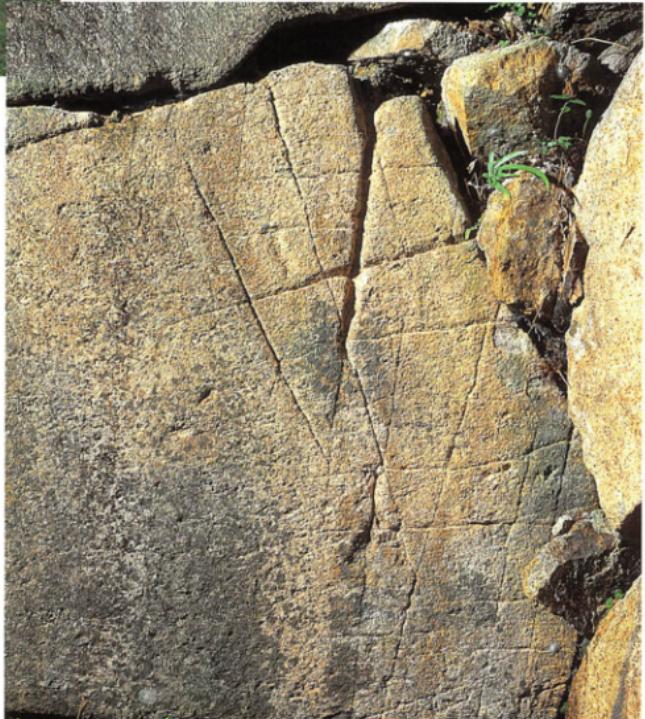
出土遺物：須恵器

築造時期：6世紀後半

緑ヶ丘2号墳



緑ヶ丘2号墳 石室

緑ヶ丘2号墳  
玄室奥壁 斜格子文？

### 3. 摂津・播磨・但馬(兵庫県)の装飾古墳

ちょくしんやがなみ

#### (4)長者ヶ平2号墳

兵庫県三方郡村岡町寺河内

墳丘：方墳(一辺約25m)

埋葬施設：横穴式石室、陶棺

装飾方法：彩色(墨書き)

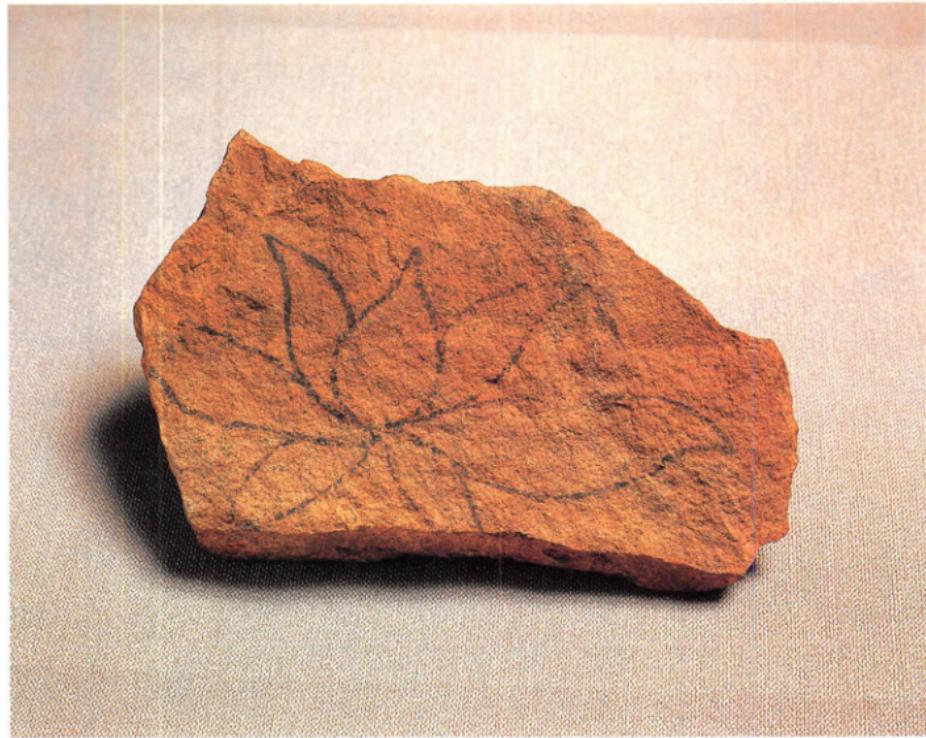
装飾位置：不明

装飾文様：蓮華文

出土遺物：不明

築造時期：7世紀中頃

長者ヶ平2号墳 石室石材 蓮華文



## (5) 三ノ谷古墳群

兵庫県三方郡村岡町高井

## ① 三ノ谷1号墳

墳丘：円墳

埋葬施設：横穴式石室（両袖）

装飾方法：線刻

装飾位置：玄室・左側壁

装飾文様：鳥

出土遺物：不明

築造時期：古墳時代後期



三ノ谷1号墳



三ノ谷1号墳 石室

三ノ谷1号墳  
玄室左側壁 鳥

### 3. 摂津・播磨・但馬(兵庫県)の装飾古墳

#### (5) 三ノ谷古墳群

##### ② 三ノ谷2号墳

墳丘：円墳？

埋葬施設：横穴式石室

装飾方法：線刻

装飾位置：玄室両側壁

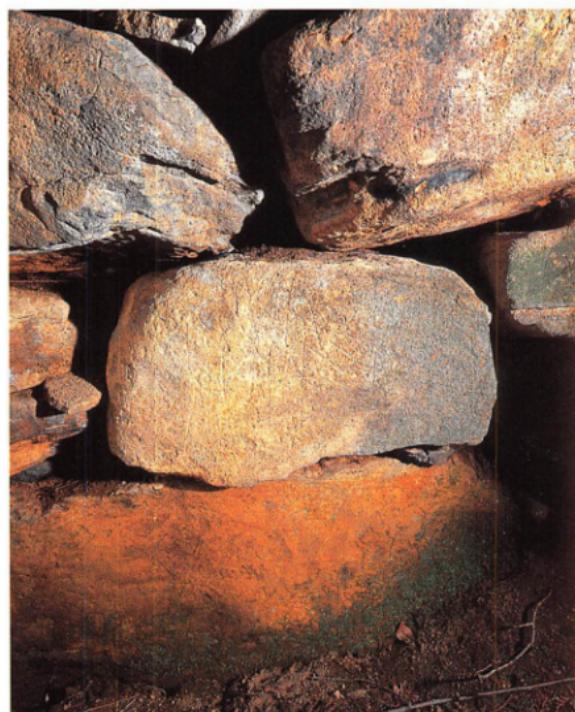
装飾文様：騎馬人物、木の葉文など

出土遺物：不明

築造時期：古墳時代後期



三ノ谷2号墳



三ノ谷2号墳  
玄室左側壁 騎馬人物、木の葉文など

## (6) 神ナシ古墳

兵庫県三方郡村岡町高井

墳丘 : 円墳

埋葬施設: 横穴式石室

装飾方法: 線刻

装飾位置: 玄室右側壁

装飾文様: 鳥?

出土遺物: 不明

築造時期: 古墳時代後期



神ナシ古墳

神ナシ古墳 玄室右側壁 鳥?



# III. 壁画古墳と線刻横穴墓



高松塚古墳・青羅  
(提供:明日香村教育委員会)

### III. 壁画古墳と線刻横穴墓

#### 1. 高松塚古墳とキトラ古墳

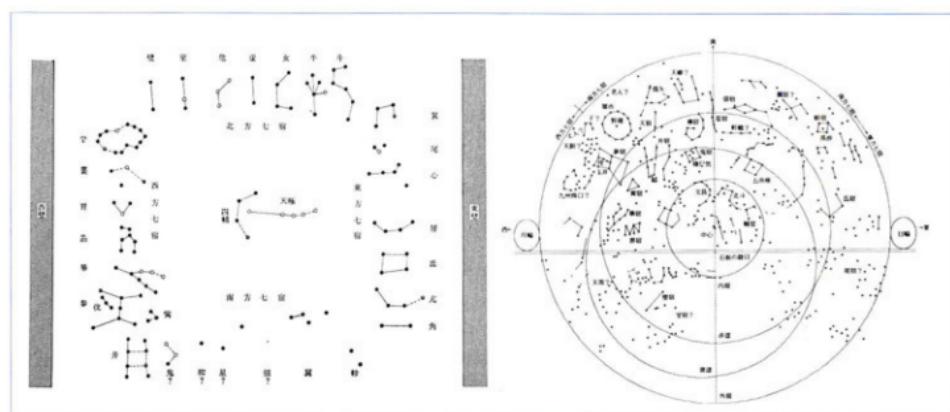
7世紀末～8世紀初頭の建造と考えられる高松塚古墳とキトラ古墳の彩色装飾は、5～6世紀代に九州北中部を中心に展開した装飾古墳のそれとは系譜を異なる精緻な壁画であり、特に高松塚古墳の男女群像や四神図について、発見以来唐や高句麗の墓室壁画からの影響についてさまざまに論ぜられている。キトラ古墳の四神図にも、高松塚古墳のそれとの共通・類似点が認められるから、両古墳の壁画は、従来の古墳における彩色装飾文化が終焉した後、中国や朝鮮半島との交渉によって新たに受容した政治理念や道教・神仙思想を背景に、これも渡来系の高度な技術を有した専門画師によって描かれたものであろう。

高松塚古墳・キトラ古墳(以下高松塚・キトラと略称)は、ともに奈良県高市郡明日香村に所在する。その位置は、藤原京跡南方の小丘陵が入り組んだ地域で、周辺には天武・持統陵古墳をはじめ7世紀後半から8世紀前半の古墳時代終末期の横口式石槨塚が多く分布する。

埋葬施設は両古墳とも横口式石槨で、その内寸法は、高松塚が長2.65m・幅1.03m・高1.13m、キトラが同2.6m(推定)・1.03m・1.18m(推定)とほぼ同一規格であるが、キトラの石槨天井は、家形石棺の蓋の名残である削り抜き形状をしており、平面天井の高松塚より古い形式である。

高松塚の壁画は、東西南北の四神(南の朱雀は未確認)と男子・女子群像、星宿図、日月像で構成されるのに対し、高松塚に先行するとみられるキトラでは、人物群像は描かれていない。この事実は、当時の墓室内壁画の主題はあくまで、天帝を中心とした宇宙の構造を表す四神図・星宿図であって、高松塚の人物像はこの主題に付加された、副題としての被葬者に供奉する従者に過ぎないと判断できよう。四神図を壁画の主題とする描画法は5世紀中葉以降の高句麗の古墳にみられ、その伝来を指摘する意見もあるが、その場合高松塚・キトラが築造される30～40年前(668年)に高句麗が滅亡している点が問題となる。

両古墳の壁画は、凝灰岩の石材壁面に漆喰を塗布して表面を平滑にした上に描かれている。高松塚の壁画は、天井に星宿図、北壁に玄武、東壁中央に上から日像と青龍、西壁も同様に月像と白虎、東・西壁のそれぞれ南端に4人の男子群像、北端に4人の女子



高松塚古墳(左)とキトラ古墳の星宿図

群像を描いている。南壁にも四神うちの朱雀が施されていたと考えられるが、盗掘時に摩滅もしくは剥落したのか確認されていない。一方キトラには人物群像は描かれず、星宿図と日月像、朱雀を除く四神が高松塚と同様に配されている。キトラの玄武像は高松塚のそれよりやや小振りに描かれているものの、両古墳の玄武・青龍・白虎の形状はほぼ一致しており、同一の原図をもとに描かれた可能性も指摘されている。ただ西壁の白虎については、高松塚では南に向いているのに対し、キトラではその逆に描かれている。中国や高句麗の墓室壁画においては青龍・白虎とも南面して描くのが原則で、高松塚の方がこれを忠実に踏襲している。

また、天井の星宿(星座)図については、高松塚は北極五星・四輔四星を中心に二十八宿(東西南北それぞれ七宿)を模式的に配した天の概念図ともいべきものだが、キトラでは、常に見える天の範囲を示す内規、地平線を示す外規や黄道、天の赤道を描き、その中に星宿を配している。これは、現実の星座の配置を忠実に表した天文図で、現存する世界最古の星図である。この天文図の原本については、高句麗に存在した天文図「古天象図」が一案としてあげられているが、形状が一致しない星宿も少なくないなどの問題もある。ただ、キトラの天文図に描かれた内規と黄道の半径比による同図の観測地の緯度は、高句麗の首都平壤にはほぼ一致するというから、高句麗で成立していた天文図のうちの1つが、同地から渡来した人々とともにわが国に伝えられてキトラの天文図の原本に使われたとしてよいのではないだろうか。

高松塚の男女群像については、男子が手前(南)側、女子が奥(北)側に配されており、当時の宮廷内の様子を表現したものであろう。人物たちは、それぞれ蓋・円翳・蝶払・棹・如意などの威儀具を手に執っているが、これらは朝廷における元日朝賀の儀式において下級官人の持ち物として定められた器物類の一部と一致しており、彼らは被葬者に威儀を示す舍人クラスの従者と考えられる。人物の服飾については、発見以来それが唐の系譜をひくものか、あるいは高句麗のそれかで論争が絶えない。確實にいえるのは、それが日本古来のものではなく(大宝令の規定とも合致しない)、また唐・高句麗の服飾と類似点もあるが相違点も少くないということである。高松塚の人物像の服装は、法隆寺の天寿国縫帳にみられるような、飛鳥時代あるいはそれ以前からの朝鮮半島風を基本にした服装が、次第に唐風化して大宝令規定の服装にたどり着くまでの過渡期(おそらく天武朝末期)に生み出されたものとの意見もあるが、詳細の解明には今後の諸資料の増加と研究に待つところが大きい。

## 2. 高井田横穴群



高井田2-14号横穴 玄室の切り込み段

大阪府柏原市に所在する高井田横穴群は、大和川を見下ろす右岸の丘陵端部に立地する。同横穴群の北方には総数1,500基以上といわれる平尾山古墳群が、大和川をはさんだ対岸には安福寺横穴群・玉手山東横穴群など所在し、古墳時代後期以降の集団墓が集中している。

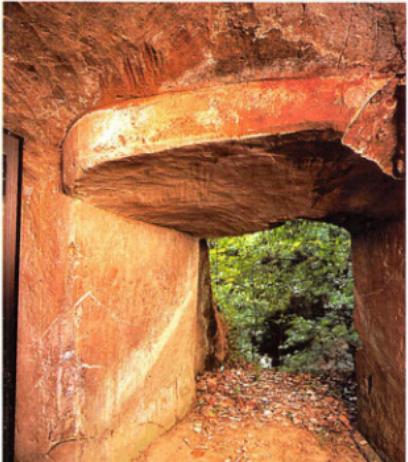
高井田横穴群は、1992年現在で162基が確認されているが、消滅・未確認のものを勘案すればその実数は200基を超えると予想される。横穴群は、分布する小丘陵ごとに東から4つの支群に分けられ、第1支群25基、第2支群54基、第3支群32基、第4支群50基という構成になっている。このうち、第2支群56号墳は、高井田丘陵の最高所に立地する円墳(高井田山古墳)で、近

畿地方では最古段階(5世紀後半)の横穴式石室を持ち、銅製の火熨斗などが出土したことで知られる。

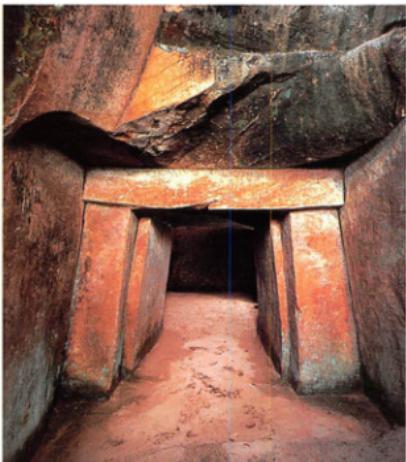
高井田横穴群は、二上山系の凝灰岩層のみを選んで掘り込まれている。群中の横穴墓の構造を總体的にとらえると、①そのほぼ100%が単室構造である、②羨道が玄室ほぼ中央に取り付く両袖式を主体とする、③玄室の平面形態は四隅直角の正方形もしくは縦長方形プランを基本とする、④玄室の横断面形はかまほこ形のドーム天井を有するものが多い、ということができる。また、⑤玄室壁面と天井の境に切り込み段を有する、⑥玄門上部を横穴式石室の眉石状に突出させる、⑦羨道天井部に天井石として自然石を架構する、など、高井田横穴群特有の構造のものもそれぞれ數十例ずつ存在する。

高井田横穴群の線刻装飾については、1918年の調査で初めて発見されて以来類例が次々に確認され、1992年現在で計27基の横穴墓に多種多様な線刻が確認されている。著名な例として、「人物の麗」と呼ばれる第3支群5号横穴(以下「3-5号」のように略称)では、羨道の左側壁に矛を持って船の上に立つ人物や櫂や锚を操る人物など5人の人物が描かれている。このほか、騎馬人物(2-3号)、家(2-5号)、蓮華文(2-14号)、渦巻文(2-23号)、木の葉・弓矢(3-10号)、鳥・鞍(3-13号)など多くの画題が認められる。施文部位は、天井を含む玄室・羨道などすべての壁面にみられ、特に玄室内には多数の図文が一見無秩序に施される例が多い。

ただし、従来から指摘されるように、高井田横穴群の線刻には、後世に描かれた可能性の高い、中には落書きとも思えるものが相当数含まれている。線刻を有する横穴墓は、以前から開口していたとみられる横穴墓の約4割を占めるのに対し、発掘調査によつて新たに確認された、後世の追刻がほぼ否定できるものはわずか1基(2-14号、蓮華文)に過ぎない。この事実から、築造当時ほとんどの横穴墓に線刻はなかった可能性が高いと考えざるを得ない。もちろん、追葬によって横穴墓が墳墓として機能していた時期に追刻される場合があったかもしれないが、いずれにしても同横穴群の線刻装飾の取り扱いは慎重になさるべきであろう。



高井田2-10号横穴 玄門上部の眉石状形態



高井田2-6号横穴 切石横穴式石室の模倣形態

## 参考・引用文献一覧 (発行年順)

### I. 近畿地方の装飾古墳分布と歴史環境

- 奈良県立橿原考古学研究所編『壁画古墳高松塚』奈良県教育委員会・明日香村1972  
瀬川芳則・中尾芳治『日本の古代遺跡11 大阪中部』保育社1983  
和田翠『大系日本の歴史2 古墳の時代』小学館1989  
柏原市教育委員会『高井田横穴群IV』1992  
国立歴史民俗博物館編『装飾古墳の世界』朝日新聞社1993  
柏原市教育委員会『田辺遺跡の鉄と銅』1998  
明日香村教育委員会『キトラ古墳学術調査報告書』1999

### II. 近畿地方の装飾古墳

- 奈良県立橿原考古学研究所編『壁画古墳高松塚』奈良県教育委員会・明日香村1972  
斎藤忠『日本装飾古墳の研究』講談社1973  
相生市教育委員会『入野大谷2号墳 緑ヶ丘2号墳 大遼山1号墳調査報告書』1982  
柏原市教育委員会『高井田横穴群I』1986  
柏原市教育委員会『明神山系道路分布調査概報II』1986  
柏原市教育委員会『高井田横穴群II』1987  
大塚初重ほか編『日本古墳大辞典』東京堂出版1989  
柏原市教育委員会『高井田横穴群III』1991  
柏原市教育委員会『高井田横穴群IV』1992  
国立歴史民俗博物館編『装飾古墳の世界』朝日新聞社1993  
神戸市教育委員会『高塚山古墳群発掘調査概報』1994  
神戸市教育委員会『平成3年度神戸市埋蔵文化財年報』1994  
明日香村教育委員会『キトラ古墳学術調査報告書』1999  
柏原市立歴史資料館『玉手山の横穴群』2000

### III. 壁画古墳と線刻横穴墓

- 奈良県立橿原考古学研究所編『壁画古墳高松塚』奈良県教育委員会・明日香村1972  
奈良国立文化財研究所飛鳥資料館『高松塚拾年』1982  
瀬川芳則・中尾芳治『日本の古代遺跡11 大阪中部』保育社1983  
柏原市教育委員会『高井田横穴群I』1986  
柏原市教育委員会『高井田横穴群II』1987  
柏原市教育委員会『高井田横穴群III』1991  
柏原市教育委員会『高井田横穴群IV』1992  
国立歴史民俗博物館編『装飾古墳の世界』朝日新聞社1993  
大阪府立近つ飛鳥博物館『大化の薄葬令 古墳のおわり』1998  
明日香村教育委員会『キトラ古墳学術調査報告書』1999  
和田翠『四神図の系譜』(『国立歴史民俗博物館研究報告』第80集1999所収)  
大阪府立近つ飛鳥博物館『残されたキャンバス 装飾古墳と壁画古墳』2000  
有坂隆道『飛鳥時代の壁画総論』2000(大阪府立近つ飛鳥博物館平成12年度春期特別展歴史セミナー)



## 協力者一覧 (五十音順、敬称略)

### ●撮影調査指導 奈良国立文化財研究所

牛嶋 茂  
杉本 和樹

### ●協力機関 相生市教育委員会

明日香村教育委員会  
安福寺  
大阪府教育委員会  
大阪府立近つ飛鳥博物館  
柏原市教育委員会  
柏原市立歴史資料館  
京都市教育委員会  
神戸市教育委員会  
神戸市埋蔵文化財センター  
滋賀県教育委員会  
東海大学情報技術センター  
奈良県教育委員会  
奈良国立文化財研究所飛鳥資料館  
兵庫県教育委員会  
村岡町教育委員会  
和歌山県教育委員会

### ●協力者 岩瀬 透

恵多谷雅弘  
岸本 道昭  
北野 重  
桑野 一幸  
中村 典男  
永光 寛  
長谷部善一  
垂匠 芳歌  
丸山 潔

### ●資料撮影 西大寺フォト

### ●展示パネル作製 株式会社堀内カラー 大阪事業所

### ●借用資料運搬 ヤマト運輸株式会社 美術品福岡西営業所

### ●ポスター等作製 熊本県印刷センター協業組合

### ●展示図録作製 株式会社 秀巧社

平成12年度 後期企画展  
【全国の装飾古墳シリーズ6】

## 近畿地方の装飾古墳

熊本県立装飾古墳館展示図録第14集

発行日 平成12年10月17日

編集・発行 熊本県立装飾古墳館

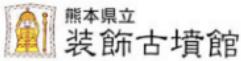
熊本県鹿本郡鹿央町岩原3085番地  
TEL. 0968-36-2151  
FAX. 0968-36-2120

印刷 (株)秀巧社



平成12年度 後期企画展  
【全国の装飾古墳シリーズ6】

## 近畿地方の装飾古墳



この電子書籍は、熊本県立装飾古墳館 企画展図録 第14集を底本として作成しました。  
閲覧を目的としていますので、精確な図版などが必要な場合には底本から引用してください。

底本は、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、全国の歴史博物館、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

書名：近畿地方の装飾古墳

発行：熊本県立装飾古墳館

〒861-0561 熊本県山鹿市鹿央町岩原 3085 番地

電話：0968-36-2151

URL：<http://kofunkan.pref.kumamoto.jp/>

電子書籍制作日：西暦 2018 年 6 月 1 日